



2011年（平成23年）用に発行されたお年玉つき年賀はがきの印面です。

図案は「^{なみうさぎ}波兎」と呼ばれている日本的なもので、年賀とはいいながらそれほど慶祝の意が込められているわけではなく、単純にこの年の干支がウサギだったことから選ばれたものでしょう。

ところが、この年賀はがきが交わされた約2か月後の3月11日、東日本大震災が発生し、地震だけでなく大津波で約2万人の人命が失われ、さらに原発災害が起きて人類の歴史に残る超大災厄が引き起こされました。

干支がひと回りした今になって眺めてみると、まるで「波兎」の図案は大津波の襲来を暗示しているかのようにも思えてきます。

波兎は大波に向かってジャンプをしていますが、人間は大津波に対してあまりに無力で、大自然の脅威から逃れることは出来ませんでした。

（記：藤岡 靖朝〈日本郵楽会会員〉）